

第41回電気通信普及財団賞 受賞論文 ～テレコム人文学・社会科学学生賞～

<順不同、敬称略>

※受賞者の所属は論文・著作発行時のものです。

入賞（賞金 50 万円）

「IEEE 802.3 規格の形成過程」

（未発表の論文）

大内 孝子 東京科学大学環境・社会理工学院 修士課程 2 年

本論文は、IEEE 802 委員会における Ethernet（802.3）規格成立の過程を、一次資料と関連文書の精査に基づいて丹念に再構成した研究である。標準化をめぐる技術的選択と組織間の調整を、モジュールやアファクトの視角から捉え、協調と競争が交錯するダイナミズムを明快に描いている。情報通信技術の標準化を社会的プロセスとして捉える独創的視点は、技術史のみならず、現代の情報技術ガバナンスにも示唆を与える完成度の高い論文である。

奨励賞（賞金 30 万円）

「ICT 産業における国際分業と付加価値の分配—国際産業連関表を用いた多国間の相互依存関係に関する実証分析—」

（未発表の論文）

光吉 佑莉加 九州大学経済学府 修士課程 2 年

本論文は、OECD が公表している国際産業連関（2023 年版）を使って、国際分業が進展している ICT 産業の現状等を分析した修士論文で、完成度は高い。問題設定や分析方法などは目新しいものではないが、分析から得られた結果は妥当なものである。分析結果から導かれる政策提言はないが、丁寧な分析がされている点を評価する。今後の研究が期待される論文である。

奨励賞（賞金 30 万円）

「Mobile phones, off-farm income and employment of rural women: Evidence from Bangladesh」

（Asian Development Policy Report Back Ground Paper, 2025 年 5 月）

松浦 正典 政策研究大学院大学政策研究科政策分析プログラム 博士課程 1 年

Abu Hayat Md. Saiful Islam Bangladesh Agricultural University

Salauddin Tauseef International Food Policy Research Institute

Shu Tian Asian Development Bank

本論文は、バングラデシュ農村部を対象に、女性の携帯電話保有が就業形態や所得に与える影響を家計パネルデータで実証分析した研究である。携帯電話保有を意思決定主体に着目して定義し、内生性に配慮した計量分析を行っている点が評価される。携帯電話の普及が女性の非農業就業や所得機会の拡大と結び付く可能性を示し、情報通信技術がジェンダー格差是正と包摂的成長に果たす役割を具体的に明らかにした、完成度の高い論文である。